



---

## Elémentaire Leçon16-1 (初級 16-1)

---

Nous avons été invités par elle. (私たちは彼女に招待されました)



L'objectif de cette leçon (このレッスンの目的)

- ・【受動態】について学習します。
- ・単語学習では、【体の一部を表す単語】について学習します。

## Partie 1 ~ La conversation ( 会話 ) ~

ホストマザーCaroleが電話で誰かと話し終わったところです。

講師が「★1 (lisez étoile un)」などと指示を出しますので、まずは自分で読んでみましょう。その後、講師が正しい読み方で発音しますので、真似してください。  
(先に講師が読む場合があります。その場合は、講師の発音をしっかり聞き、リピートしましょう。)

- Robert : ★1 *C'est avec Sophie que tu parlais au téléphone?*
- Carole : ★2 *Oui. En fait nous avons été invités par elle.*
- Robert : ★3 *C'est sympa!*
- Carole : ★4 *Maiko, tu as quelque chose demain soir?*  
*Si tu veux, tu pourras venir chez elle avec nous.*
- Maiko : ★5 *Avec plaisir!*
- Carole : ★6 *Elle fait bien la cuisine, tu vas te régaler.*
- Maiko : ★7 *J'attends ça avec plaisir. J'adore la nourriture française!*

Robert: 君が電話で話していたのはソフィーかい？  
Carole: そうよ。実はソフィーのお家に招待されたの。  
Robert: いいね！  
Carole: マイコ、明日の夜は予定ある？  
もし良ければ、私の妹のソフィーのお家に一緒に行きましょう。  
Maiko: 喜んで！  
Carole: 彼女は料理上手なの、おなかいっぱい食べられるわよ。  
(=ごちそうを食べられるでしょう。)  
Maiko: 楽しみだな。私、フランスの食べ物大好きなの。

## Partie 2 ~ Nouveaux mots (新しい単語) ~

※ A apprendre seul après le cours (自習用)

<input type="checkbox"/> en fait	実際には
<input type="checkbox"/> invité	inviter の過去分詞。英語の invite に相当し「～を招待する」の意味の動詞。受動態で使われている。
<input type="checkbox"/> quelque	英語の some に相当する形容詞。性数変化はしないが、複数形 quelques で「いくつかの、何人かの」の意味。非可算名詞の前で「いくらかの、少しの」の意味。「ある～、いくつかの～」の意味もある。
<input type="checkbox"/> chose (f)	英語の thing に相当し「物、事」の意味。quelque chose で英語の something に相当し、「何か」の意味。
<input type="checkbox"/> si 主語+動詞	「もし～ならば」という意味の接続詞。英語の if に相当。
<input type="checkbox"/> plaisir (m)	英語の pleasure に相当し、「喜び、楽しみ」の意味。
<input type="checkbox"/> régaler	「～にごちそうする、もてなす」の意味の動詞。se régaler で「ごちそうを食べる」の意味。
<input type="checkbox"/> nourriture (f)	英語の food に相当し、食べ物、食品の意味。

## Partie3 ~ Grammaire (文法) ~

**【受動態】**について学習します。

文法に関する説明は、事前に読んで学習し理解しておきましょう。

講師が「★8 (lisez, étoile, huit)」などと指示を出しますので、まずは自分で読んでみましょう。その後、講師が正しい読み方で発音しますので、真似してください。

### 受動態 le passif

主語が主体となった動作「A は B に～する」という文を能動態と言うのに対し、主語が動作を受ける側になる「B は A に～される」という文を受動態と言います。

この表現ができるのは、能動態の文で B が直接目的語となる場合のみです。(入門 6 で学習した基本文型の 3、5、6 のみです。)

## 受動態の作り方

«A+動詞+B+〜. » 「AはBに〜する」とう能動態の文を受動態にする場合、

### ●「BはAによって...される」

## B + être(時制・主語により活用) + 動詞(過去分詞) + ... + par(または de) + A

※過去分詞(participe passé)は、主語の性・数に一致します。

※êtreの複合過去、大過去、前未来の助動詞はavoirです。

◆基本的には、動作主Aの前置詞はparですが、以下の動詞のような感情などを表す一部の動詞の場合はdeを使います。

- ★8 être aimé(愛される)、★9 être respecté(尊敬される)、★10 être détesté(嫌われる)、
- ★11 être entouré(囲まれる)、★12 être connu(知られる)、★13 être couvert(覆われる)、
- ★14 être rempli(満たされる)、★15 être composé(構成される)

例: ★16 Elle écrit cette lettre au crayon.(彼女はその手紙を鉛筆で書きます。)

→★17 Cette lettre est écrite par elle au crayon.(その手紙は彼女によって鉛筆で書かれます。)

例: ★18 Je l'aime.(僕は彼女を愛している。)

→★19 Elle est aimée de moi.(彼女は僕から愛されている。)

例: ★20 Il a acheté cette bague à cent euros.(彼は100ユーロでその指輪を買った。)

→★21 Cette bague a été achetée à cent euros par lui.(その指輪は彼に100ユーロで購入された。)

◆動作主Aが不定代名詞onの場合、省略されます。

例: ★22 On m'a volé ma montre.(誰かが私の時計を盗んだ。) ※meは間接目的語です。

→★23 Ma montre m'a été volée.(私の時計は盗まれた。)

例: ★24 On parle l'allemand à Vienne.(ウィーンで人々はドイツ語を話します。)

→★25 L'allemand est parlé à Vienne.(ウィーンではドイツ語が話されます。)

◆受動態と代名動詞の違い

再帰代名詞seを用いた代名動詞の中にも、受動的用法はあり、多くの場合はどちらでも表現が可能です。以下の場合は注意が必要です。(代名動詞は初級9参照)

●代名動詞を用いる場合の主語は「もの」を表す名詞、代名詞に限られます。

●動作主Aの存在(per A)を表す場合は、受動態を使います。

●受動態と代名動詞ニュアンスが異なる場合があります。その場合、受動態が過去分詞の用法である現在完了(現在までその状態が続いている)の意味合いが強調されるのに対し、代名動詞は動作そのものの進行に重きを置かれます。

例: ★26 Le stock est épuisé.(その在庫は売りつくされている。=もうない)

参考: ★27 Le stock s'épuise.(その在庫は売りつくされる。)

参考: ★28 Le stock s'est épuisé.(その在庫は売りつくされた=もうない)

◆過去分詞の受動的形容詞用法

過去分詞単独で、名詞もしくは代名詞を修飾して、「〜された○○」という意味を持ちます。形容詞になるので、修飾する名詞の性数により変化します。

例: ★29 Je lis ces livres écrits en français.(私はフランス語で書かれた本を読みます。)

★30 【練習問題～Exercices～】

講師が能動態もしくは受動態の文を言いますので、能動態は受動態に、受動態は能動態にしてみました。

講師が écrivez と言ったら、チャットにスペルを記入しましょう。

例：(講師) Je l'aime. → (生徒) Elle est aimée de moi.

例：(講師) Elle est aimée de moi. → (生徒) Je l'aime.

## Partie4 ~ Leçon de vocabulaire ( 単語学習 ) ~

体の一部を表す単語を覚えましょう！

★31 la tête(頭)

★32 les cheveux(髪)

★33 le visage(顔)

★34 le cou(首)

★35 l'épaule(肩)

★36 le dos(背中)

★37 le ventre(お腹)

★38 les reins(腰)

★39 les fesses(お尻)



★40 【練習問題～Exercices～】

講師が講師の体の一部を指して「これは何ですか？」と質問しますので、答えてみましょう。

講師が écrivez と言ったら、チャットにスペルを記入しましょう。

例：(講師)(肩を指して) Comment cela s'appelle-t-il? →(生徒) C'est l'épaule.

## Partie5 ~ Exercices ( 練習問題 ) ~

A : 以下の日本語を、フランス語にして読みましょう。講師が *écrivez* と言った場合は、チャットにスペルを記入しましょう。

★41 それらのケーキは、ブリュッセルのケーキ屋さんで働いているパティシエによって作られました。

※パティシエ un pâtissier ※ケーキ屋 une pâtisserie ※ブリュッセル Bruxelles

★42 カナダではフランス語も話されます。

★43 去年の冬、その山はたくさんの雪に覆われていた。

※冬 hiver ※山 une montagne ※覆う couvrir (過去分詞 couvert) ※雪 la neige

★44 彼はこの街のみんなに知られている。

※知る connaître(過去分詞 connu) ※街 une ville

★45 このプレゼントは、私の誕生日におじさんから贈られました。

※プレゼント un cadeau ※贈る offrir(過去分詞 offert) ※誕生日に→誕生日のために

★46 この大きな時計は、30年前、祖父母が初めてフランスに行ったときに買われたものです。

※置時計 une pendule ※初めて pour la première fois

★47 B: 講師がこれからフランス語で質問します。フランス語で答えてみましょう。

※難しい場合は *écrivez* と言い、チャットに記入された文を見ながら考えてみましょう。

★48 C: 講師がこれから言う単語や文章を聞き取り、チャットに書いてください。講師が正解とつづりをチェックします。